

堂々川；「活動テーマ「ホタルと花と砂留と」

2025（令和7）年4月18日 堂々川ホタル同好会情報紙 2024年度 第11号（創刊239号）

1. 3月定例会は3月23日25名参加で実施しました。
2. 世界バラ会議福山大会2025応援宣言をしました。
3. 第57回ばら花壇コンクールばらのまちづくり部門に応募しました。

今月の作業は、蔦が迫砂留5～6番砂留草刈り草取り整備清掃、堂々川河原 & 道路のゴミ拾い、各種花の植栽、花壇の造作、伐採木の片付けでした。

4月14日こどもえんみどりの園児と一緒にチューリップを植えました。

4. 目で見える事例



応援宣言登録証



ミーティング



ミーティング



花壇整備



花壇整備



取材状況



こどもえんみどり



中国新聞記事



世界バラ会議幟旗

5. 次回の定例会

4月20日（日）1番砂留駐車場に集合 11:00～12:30

作業内容：11時総会 11時30分懇親会

6 発行責任者 堂々川ホタル同好会 会長 中山晋一

夕陽に思いをはせるこの頃は

堂々川ホテル同好会は、ホテルの住む美しい環境を保つため、堂々川と砂留を中心に環境保全をボランティアで行う同好会です。主な活動は、月1回の定例会にて、草刈、ゴミ拾い、花苗や樹木の植樹等を行っております。そのほか定例会外での広報や地域のボランティアも、自主的な会員の活動によって行われております。

2025年、春の目玉のひとつは、1番砂留に植えられている”廉塾バラ”の苗でしょうか。神辺交流館よりいただいたこのミステリーローズが、今年の世界バラ会議にあわせて見事花開いてくれるか、まだ小さな葉を見てはエールを送る心持です。開花は春の終わりか、初夏のころか。寒さに負けないようにと、良い土や良い肥料を各所のご厚意で譲っていただき、福山市に愛されるバラとして心温まるスタートを切った苗たちです。今はまだ「ここにはいったい何が咲くのだろう?」と謎の花壇である1番砂留が、色鮮やかにお披露目をしてくれる日が待ち遠しいです。また、かなべ図書館へ足を運ぶと、特設コーナーでバラにまつわる本がたくさんピックアップされていて、世界バラ会議のパンプレットとともに華やきを添えています。廉塾バラとといったい何だろう?の解説もさりげなく館内に貼ってあり、同好会と地域の皆様とが、バラと土を通して少しずつ繋がっているように思えます。地縁とはこういうものを言うのかもしれないと、ささやかながら日の長くなってきた夕陽に思いをはせるこの頃です。



堂々川彼岸花基金

ご寄付頂いた [地域企業・団体・個人の皆様ありがとうございます](#)

亀川病院、キングパーツ(株)、テラル(株)、こどもえんみどり、(株)御領精螺、しげまさ歯科、まが医院、(有)ジャパン・ラム、(有)石宝、(有)中国美装サービス、(有)プランネットエンジニアリング、楊貴妃、ゆうゆう神辺、ワンエイト(株)、(有)神辺ふかしな葬祭、(株)フカイ、御領郵便局、重政工務店、福山市農業協同組合、松井製畳、(株)森山仏商 (敬称略 順不同)

個人名は記載しておりません。又、法人名の不掲載もございます。

ご支援ありがとうございます。ご寄付頂きました支援金は有効に且つ大切にに使わせていただきます。

堂々川彼岸花基金の詳細はホームページに詳しく記載しています。ご覧下さい!!

堂々川ホテル同好会のホームページアドレスは dodogawa.com です。

